



■市の木/いちよう

# 体協だより

2011. .  
第88号増刊号  
所沢市体育協会  
広報委員会発行

## 小手指支部

第57回小手指地区体育祭が、10月9日(日)小手指小学校校庭で開催されました。

当日は、晴天に恵まれ、絶好の運動会日和となりました。参加団体は6団体で、対抗6種目で優勝を争いました。一般参加の方も大勢参加し、団体の参加者と合わせて約1,000人の参加がありました。

開会式は、選手の入場行進から始まりました。小手指中学校吹奏楽部の演奏をバックに、選手の勇ましい行進が続きます。前年度優勝の第四分館から優勝杯が返還され、場内は拍手に包まれました。今年もこの優勝杯を目指して、各チームが競い合うこととなります。鈴木体育祭実行委員長、来賓の方々に挨拶を頂いた後、第五分館の代表が力強く選手宣誓を行い、いよいよ体育祭のスタートです。

競技が始まると、ユニフォーム姿の小手指ファイターズの子も達や元気な長生クラブの方々など、参加選手がグラウンドを縦横無尽に駆け巡りました。「ソフトに走りましょう」や「ピンポンパン」など、一般参加の人気競技には、招集場所に長い列が出来ました。対抗種目の「男女混合縄跳びリレー」や「ジグザグドリブル」では、上位を目指して精一杯に頑張る選手の様子が見られました。



《リレー競技の様子》

昼休みには、地区の民踊会の方々の民踊、消防団第6分団による給水実演、空手演舞が披露され、楽しい一時となりました。「とこちゃん体操」も多くの方が参加しました。対抗種目の順位は、最後の「男女混合800mリレー」までもつれ、「上新井すみれ町会」が連覇を狙った「第四分館」を僅差で振り切り、見事優勝しました。

最後に、ケガ人も無く、無事全ての種目を実施出来たことに、準備にご協力いただいた役員の方々をはじめ、参加された大勢の皆様へ心より感謝申し上げます。

文責：体育協会小手指支部

## 三ヶ島支部

今年度も恒例の「三ヶ島地区レクリエーション大会」が、平成23年10月10日(月)体育の日に三ヶ島中学校校庭で開催されました。

朝から雲ひとつない秋晴れとなり、運動するには少し汗ばむ気温の下、一般プログラム10種目(内オープン参加5種目、区対抗競技5種目)と自由参加の常時開催プログラム3種目を実施しました。



《駄菓子取り競技の様子》

一般プログラムには12地区の参加があり、また常催プログラムには延べ800人以上の方が参加しました。

一般プログラム内容については「今年も一人でも多くの参加者の笑顔を見たい」をモットーに競技内容の改善を図るなど工夫をこらしました。特に最終種目の障害物リレーは区対抗競技でもあり、また、総合順位に影響することから大いに盛り上がりました。

昼休みには子どもたちによる和太鼓の演奏や、所沢市三ヶ島民踊レクリエーションクラブによる「民踊(おどり)」と「とこちゃん体操」を実施し、多くの方が参加して賑やかな昼休みとなりました。

区対抗種目による順位は、同点となった地区同士でジャンケンによる順位決定がありました。優勝は三ヶ島第13区で、準優勝は三ヶ島第1区が飾り、3位は若狭4丁目自治会となりました。

最後に一日を通じて一人のけが人も無く、無事に全ての種目を実施することができました。参加された大勢の皆様へ心より感謝申し上げます。

文責：体育協会三ヶ島支部長 村田 敏次



所沢市イメージマスコット「トコロん」

## 吾妻支部

10月16日(日)絶好の天候に恵まれ、「第14回吾妻地区ふれあいスポーツフェスティバル」が南陵中学校校庭で開催されました。

今年は、日本にとって忘れられない大災害が発生したことから、「東日本大震災復興支援」「とどけよう、スポーツの力を東北へ」をスローガンに掲げました。

当日は早朝の急激な天候の回復に助けられ、吾妻地区6地域の住民の親睦と健康増進を図り「明るい地域社会の推進」を目的として、地域の企業・商店・各町内会をはじめ各種団体からご支援をいただき開催することができました。

開会后、とこちゃん体操を行いからだをほぐした後、競技に入りました。競技は参加者全員による大玉送りからはじまり、吾妻の朝市や大縄跳び、ホールインワンゴルフリレー、大人と子どもが参加する竹取物語などの競技が行われました。



《大玉送りの様子》

午前11時ごろからは、スポーツ団体による、まんじゅう・やきそば、うどんの模擬店、また、南陵中学校の生徒によるカキ氷など、13店舗の模擬店がオープンし、全店舗完売の大盛況となりました。

また、民生・児童委員と南陵中学校の生徒による幼児の参加賞(ヨーヨー)づくりや武道場では南陵中学校PTA主催のバザーも開催されご協力をいただきました。

午後からは、ベーゴマなどの昔の遊び体験コーナーや吾妻民謡レクリエーションクラブによる民踊、中学生と駆け比べなどが行われました。最後は全員で民踊・フォークダンスを行い閉会式となりました。

終了後は空クジなしのお楽しみ大抽選会を行い、豪華賞品に当たる度に大きな歓声が上がっていました。

今後もこのふれあいスポーツフェスティバルを通して、町内会・学校や各種団体

や企業等と連携を図り明るいまちづくりに少しでも寄与できればと考えています。

文責：体育協会吾妻支部長 内野 信行

## 山 口 支 部

10月23日(日)山口中学校屋内運動場において、第3回目となる「山口地区親睦ミニ運動会」が行われました。

山口地区の皆さんが誰でも気軽に参加できるように、今年も1チーム8人以上での参加を募集したところ、今年は22チームの参加がありました。少年野球、サッカー、柔道、剣道、サークル団体、町内会自治会、野球コーチ・ママさん等で構成された幅広い年代の方々総勢240名が集まり、和やかに開催されました。限られた時間でのミニ運動会のため、当初5種目を予定していた競技を時間の関係上、「玉入れ」・「スリッパ飛ばし」・「むかで競争」・「大縄跳び」の4種目に変更し、競技種目別に得点を競い、種目別に順位表彰及び賞品、総合得点三位までの表彰と賞品、参加者全員に参加賞を用意しました。



《大縄跳びの様子》

競技については、小学生から大人のチームまで多種多様な構成のため、対戦において有利・不利な面もあったと思いますが、選手の皆さんは一生懸命頑張っていたのが印象に残りました。「玉入れ」では50個用意した玉のうち、49個を入れたチームがあり、また、「むかで競争」ではゴール直前で転倒し逆転されたチームもありました。特に昨年のミニ運動会で連続56回という記録が出た「大縄跳び」は、最高記録が37回と2年連続での記録更新とはなりませんでしたが、しかし、各チームの中では大幅に記録更新となったようでした。

日曜日の貴重な時間の中、参加された皆さんの協力のもと「山口地区親睦ミニ運動会」を無事終えることができました。今回の成果と反省を活かし、さらなる地区・地域の親睦を深められるよう翌年の開催につなげていきたいと思えます。

文責：体育協会山口支部

## 中 央 支 部

11月6日(日)「第21回中央地区体育祭」が所沢小学校校庭で行われました。

当日は雲行きが怪しく開催が危ぶまれましたが、実行委員の熱意のもと、二年ぶりの体育祭なので何とか開催しようと決定しました。



《リレー競技の様子》

7時の「花火」打ち上げで開催の合図を行い、8時過ぎには各町内から役員、選手が集合し、支部席の設置、横断幕を掲げて応援の準備等々、各町内の独自性が発揮され華やかな支部席が整いました。

大会には各町内より約2,000名の参加があり、開会式では宇佐美実行委員長の開会宣言清水大会会長より「今年の第21回体育祭は二年ぶりとなりますので、皆さんも待ちに待った大会で、楽しみにしていたと思います。優勝はもちろんですが、地域皆さんの親睦と交流を大いに深めて、ケガの無いよう競技を楽しんで下さい」とのあいさつがありました。

次に、来賓の三上体育協会副会長からは「中央地区体育祭にはこの様に多くの参加者が集い、地域の連帯の深さを感じます。この大会を通し地域の皆さんが親睦を深め、地域発展の礎になればと思います。頑張ってください」次に、所沢小、大磯校長、秋田市議からは祝辞を頂き、競技途中で、藤本市長、佐藤教育長から祝辞を頂きました。

競技は14町内(支部)より幼児から高齢者まで参加できる競技プログラムに沿って始まりました。途中、対抗種目とレクリエーション種目をおりまぜながら順調に進み、昼休みには所沢婦人クラブの民謡踊りが行われました。また、途中から雨が降り出したため、騎馬戦、風船割り競争、ボール蹴りリレーは中止しましたが、対抗種目は得点の関係で全種目行い、障害物競争は雨の中、転倒者もあり泥だらけの選手ありでしたが良く頑張って頂きました。

最後の種目支部対抗男女400mリレーでは、ぬかるみに足を取られて転倒する選手がいる中、抜きつ抜かれつの激しいレースとなり大いに盛り上がりました。

閉会式では、水谷審判長から成績発表があり、優賞は北有楽町、準優勝は西所沢、三位は元町本町でした。優秀応援賞は御幸町、北有楽町へ贈られました。

道又大会副会長より「雨の中大勢の参加を頂き、ケガもなくスポーツを楽しまれ、親睦も深まり有意義な大会でした」と講評を、田畑大会副会長の万歳三唱、神谷所沢まちづくりセンター長の閉会の言葉で体育祭の閉会となりました。

文責：体育協会中央支部

## 第22回所沢シティマラソン 7,358名が参加(出走)!!

第22回所沢シティマラソン大会が12月5日開催されました。当日は西武ドームをスタート・ゴールとし全国から7,358名のランナーが狭山丘陵周辺のコースを駆け抜けました。

また、地元埼玉西武ライオンズからは、大石達也投手、林崎 遼選手、前川恭兵投手の3選手が2kの部に参加し大会を盛り上げていました。

### ★当日参加者数

・ハーフ：2,761名・5km：1,901名  
・3km：935名・2km：1,761名



《開会式であいさつする藤本市長》

## 所沢市スポーツ大賞 体育協会賞表彰式開催のお知らせ

1年を締め括る行事である「所沢市スポーツ大賞・体育協会賞」表彰式が平成24年3月3日(土)に所沢市民体育館サブアリーナにて開催されます。

この表彰は、本市において体育・スポーツの振興に貢献した者、またはスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を顕彰し行うものです。

また、当日は各種連盟・支部において優秀な成績を収めた者に対し「体育協会賞」の表彰も行われます。

### ■体育協会賞推薦書のダウンロード先

### ■体育協会ホームページ

<http://tokorozawa-taikyo.org>

○スポーツ大賞推薦書のダウンロード先

○所沢市ホームページ

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>